

小林秀樹教授・丁志映助教らの研究成果が NHK 放送と韓国の KBS 放送で紹介

高齢化や空き家に悩む団地において、団地コミュニティの活性化のために、小林・丁研究室と鈴木雅之助教らが 2005 年から現在まで研究の一環として実践している、千葉市の団地（西小中台団地）を活用したシェアの取り組みが、09 年 5 月 20 日の NHK「ニュースウォッチ 9」の特集で紹介されました。

また、1つの住宅で家族以外の人が共同生活を送る「ハウスシェア」の傾向を明らかにした研究成果が、09 年 5 月 20 日の NHK「おはよう日本」で紹介されました。丁志映助教は、インタビューで“都市部を中心に、若い世代では、正社員で一定の収入があっても高い家賃が負担となって、家賃や敷金などを抑えるために、ハウスシェアを選ぶ人が急速に増えている。不況や不安定な雇用が続くなか、こうした住み方を選ぶ若者は今後も増えるとみられる”と話しています。

さらに、同映像は韓国の国営放送の KBS「ワールドニュース」(09 年 5 月 22 日)でも放送されました。



西小中台団地の空き家の有効活用（NHK ニュースウォッチ 9、09.5.20 放送）



ハウスシェアが若い世代で急増（NHK おはよう日本、09.5.20 放送；KBS ワールドニュース、09.5.22 放送）